

February 4th, 2012



News of The Japanese Weekend School of New York

BIG

APPLE

No. 7

ニューヨーク補習授業校

発行責任者：校長 小野 康雄

56 Harrison St. Suite204
New Rochelle, NY 10801 U.S.A.

Tel: (914) 636-3770

Fax: (914) 636-7476

休校日の補充について

早いもので本年度も残り少なくなってきました。先日の雪で休校としました1月21日分の授業日の補充を下記のとおり行うことにしましたので、お知らせいたします。地区校及び幼初等部と中高等部では、日にちと対応が違っていますのでご注意ください。

L I 校 幼初等部：2/11（土）を6時間授業とする。（雪対策時間実施）

中高等部：当日3時間の自習のみで、別途補充はしない。

W校 幼初等部：2/18（土）を6時間授業とする。（雪対策時間実施）

中高等部：3/24（土）を授業日とする。（雪対策日実施）

※2/4には漢字検定が入っているため、このような調整になりました。ご理解いただきますようお願いいたします。

この2月で本校は創立50周年を迎えました。京都の業者に発注していた記念の校旗が完成し、間もなくNYへ到着する予定です。3月に機会を見てお披露目をする予定です。

（ホームページへの挨拶文より）

50周年を迎えて！

昭和37年2月、マンハッタンの日本クラブに開設された日本語教室が本校の原点である。日本が戦後の混乱期を抜け高度経済成長期に入った頃のことである。子ども達は現地校で学びながらも将来日本へ帰国する時に備え、日本語を保持する必要性に迫られていた。小中併せて36名からのスタートであった。その後30年間は、生徒数の増加傾向が続き、ピーク時にはニューヨーク、ニュージャージー地区併せて4500名にも達したのである。バブル崩壊後、潮が引くかのように生徒数が減り始め、50年目の今年には、両地区合わせても130名ほどになっている。この間、各地に多くの地区校が開設され、現地の理解を得ながら英知を絞り、営々と補習授業校としての使命を果たしてきたところである。学校の設立や運営に関わられた歴代の日本人会、ニューヨーク日本人教育審議会、教育管理委員会の委員の皆さんはじめ、教育に直接携わられた教職員の皆さん、そして学校をまた子ども達を直接支えてこられた保護者の皆さん、こうした方々の思いやご苦勞を想起すると、感慨深く崇高の念と感謝の気持ちで一杯になる。大勢の方々の情熱と献身的なご尽力のお陰で今日の姿がある。

この50年の間に日本も世界も大きく変わった。日本とアメリカとの関係も変わってきた。情報化時代を迎え、子ども達を取り巻く環境も大きく変化してきているが、子どもの教育の重要性と海外に於ける教育の難しさは今も昔も変わらない。現地校と補習授業校での学習を両立させ、日米両方の文化を理解する子ども達の学びの場を、これからも整備し、維持していくことが本校の存立の意義である。新たな50年を見据えた教育活動の展開をここに誓うものである。

「地球に学ぶ」本校
の受賞作品と受賞者
を紹介します。

第32回海外子女文芸作品コンクール最終審査の結果、4名の作品が受賞しました。中でも「詩」の部でW校初等部3年生のビエム アディア 奈月さんが特別賞の「JFE21世紀財団賞」に輝きました。また、「短歌」の部でW校初等部2年生の加賀大裕さんとW校初等部4年生の大塚晃樹さん、「俳句」の部でW校初等部4年生の田中里都紀さんがそれぞれ優秀作品に選ばれました。4人の作品は毎年発行されている「地球に学ぶ」（第32回 平成23年度）に収録されています。ここにその作品を紹介します。

ビエム アディア 奈月さんは、昨年度も「作文」の部で優秀作品に選ばれていて連続の受賞です。

「詩」の部

「J F E 2 1世紀財団賞」

『ほっぺがおちる』

W校 小三 ビエム アディア 奈月

五月になると いつもお母さんが言う。

「日本のいちごは、

赤くて あまくて おいしくて

食べると ほっぺがおちるのよ。」

と。

七月になると いつもお母さんが言う。

「日本のももは、

やさしいピンク色

かわがスーッとむけて おいしくて

食べると ほっぺがおちるのよ。」

と。

九月になると いつもお母さんが言う。

「日本のぶどうは、

ぐん青色の大きなつぶで あまくて おいしくて、

食べると ほっぺがおちるのよ。」

と。

わたしは、何ともお母さんに聞いてみる。

「本当にほっぺがおちるの？」

お母さんの答えはいつも同じ。

「本当よ。おいしすぎて、ほっぺがおちてしまうのよ。」

わたしは、どうしてもたしかめたいのです。

自分のほっぺがどんな風におちるのか？

日本に行つて食べてみたいのです。

他に「佳作入選者」として、次の3名の名前が冊子に掲載されています。

「俳句」の部 W校 小4 大塚 晃 樹
「作文」の部 LI校 小4 パブル 杏菜
W校 小4 鉄村 沙央里

来年度もたくさんの応募を待っています。

2012年度

SMBC Global Foundation, Inc.
奨学生募集

今年も三井住友銀行よりニューヨーク及びニュー
ジャージー補習授業校に通う児童生徒を対象にした
奨学金のお申し出がありました。

本日募集要項をお配りしたところですが、締め切
りが再来週25日(土)になっています。必要書類
を整えた上、補習校事務所までお届け下さい。補習
校職員室でも受け付けます。

【提出書類】

- ・申込書
- ・作文
- ・現地校成績表コピー

2/25(土)事務所必着です。

※昨年度受給の児童生徒も応募できます。

「短歌」の部 優秀作品

「がんばって」とどけぼくらのメッセージにしんにまけるな日本の友だち

W校 小一 加賀 大裕

秋雨がとつぜんやんだ船の上夕日にかがやく自由の女神

W校 小四 大塚 晃 樹

「俳句」の部 優秀作品

つかまえたかにかまれて手を放す

W校 小四 田 中 里都紀